

会員リレーエッセー ◆◆155◆◆

急がない旅

宮田 英利 (金沢市・歯科)

遠方の目的地に急ぐとき、場所にもよるが、一番早いのは飛行機であろう。飛行機が嫌いな人は鉄道を選択するし、自家用車や高速バスという手もある。自分が子どものころは、まだ蒸気機関車が走っており、北陸本線は電化されていたが能登方面は非電化で、ディーゼル列車がのんびり走っていた。電車で大阪に行く場合、自分が小学生のころは四時間近くかかったが、現在は最速の特急で金沢から二時間四十分である。目的地に急ぐための移動手段として交通が発達し、日本各地が近くなったのはとても便利なことである。高速道路を使えば鹿児島にだって、車で簡単に行けそうである。若いときは長距離でも車で移動したのだが、最近では年齢のこともあり疲れやすくなり心身のゆとりも必要ではないだろうか。

JRや飛行機を使うことが多くなった。移動に時間を費やすよりも、目的地に早く着き、現地で時間を有効に使うほうがいいに決まっている。ビジネスなら、なおさらである。そうとは分かっているが、移動のためだけに交通手段を選ぶという考え方は寂しいように思う。

JRには、大阪から北海道の札幌を結ぶトワイライトエクスプレスという有名な寝台特急列車がある。この列車、大阪発は約二十二時間、札幌発は約二十三日間かけて千五百キロの行程を走る。飛行機なら、約一時間五十分で飛び距離である。この列車は移動手段としてではなく、クルージングを楽しむ趣味の列車といえよう。これだけの長距離、冬は雪で運休になったり大幅な遅れが出ることもあり、今年の二月には二十五時間遅れたこともあったそうだ。また、食堂車で食事を楽しむこともできる。二十年前は、在来線特急や新幹線に当たり前のようであった食堂車は、今ではこの列車を含め、わずかに三列車にしか存在しない貴重なものになってしまった。この列車に乗るために遠方から出向く愛好者もいるそうである。急ぐことばかりに気をとられず、こういった列車に乗り、車窓を楽しみ、時間を費やす心のゆとりも必要ではないだろうか。

聞き書き 近江町市場・今昔 その4 明治維新から敗戦まで

井沢 宏夫 (金沢市・内科)



見て触って暑さを和らげる、近江町市場の夏の風物詩・氷柱

明治維新が起き、廃藩となり加賀藩も解体された。失ってしまったのだ。藩主により手厚く保護されていた近江町市場の魚問屋は、もろもろの販売特権をすべて失った。武士階級失うと同時に、魚類を集荷する職業への転身を試みた。多くは失敗し没落した。明治十八年(一八八五年)の土族(武士)の破産者は千人に及んだといいい、他所へ流出する者が続出した。事実、金沢の人口も十二万五千人から十万人に減少し、その一〇%がその日暮らしにも差し支え、こじきも横行したという。近江町市場も秩序が混乱し、得意先だった上客の武士階級の没落と流出は、市場商人にとって致命



大正8年に撮影された「官許金沢青草辻(近江町)市場」の柱(上写真:「まるごと・ザ・金沢近江町」と平成21年に立て直された現在の官許の柱(右写真))



的な打撃となった。市場中の店舗が酒二升で譲渡されたともいう。それでも、金沢十万人の小さな青果市場が統合され、「青果小売組合」が設立されたり、鮮魚専門の魚市会社ができたり、維新後の新しい体制下で次第に市場活動も盛んになり、明治三十八年(一九〇四)には、公設市場として「官許金沢青草辻(近江町)市場」を掲げた。これを示す大きな石の標柱が武蔵ヶ辻寄りに建っている。大正時代には、北洋漁業や遠洋漁業などにより魚の取り引きも活発化し、近江町市場は鮮魚の卸専門となり、青果も住吉市場に移転するほど活発な取引が行われた。昭和時代になり、世界経済恐慌のあおりなどで近江町市場も活気を失う時期があるが、市民の旺盛な食欲と市場関係者の尽力により維持された。しかしながら、昭和六年(一九三一)の満洲事変に始まる中国への侵略戦争に引き続き、全面的なアジア太平洋戦争への拡大は戦時色を強め、近江町市場の若者が次々召集を受け徴兵された。そのため市場に思うように荷が集まらなくなり、自由な商業活動が制限され出し「統制経済」となり、昭和十八年ごろには遂に近江町市場は窒息させられて市場機能を失ってしまうのである。余談になるが、戦時中の計画配給制度下では、市民一人一日当たり魚三十匁(百十三グラム)、大人二人にやや大きめの鯛一匹の配給だった。野菜は百五十グラム、二百グラムの配給で、品不足で野菜が足りず、サツマ芋の葉を入れたとい

原稿募集中 趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

SUDOKU 数独

9x9 Sudoku grid with some numbers filled in. The grid is as follows:
Row 1: [ ] [ ] [9] [6] [ ] [ ] [ ] [ ] [5]
Row 2: [1] [3] [4] [5] [ ] [2] [ ] [ ] [ ]
Row 3: [4] [ ] [ ] [ ] [ ] [6] [ ] [ ] [ ]
Row 4: [ ] [7] [1] [ ] [ ] [6] [ ] [ ] [4]
Row 5: [5] [ ] [ ] [1] [ ] [ ] [8] [3] [ ]
Row 6: [ ] [2] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [1]
Row 7: [ ] [6] [ ] [8] [5] [4] [ ] [ ] [2]
Row 8: [3] [ ] [ ] [9] [ ] [7] [ ] [ ] [ ]

二重枠(2つあります)に入った数字の合計はいくつになるでしょう。【ルール】①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。②タテ列(9列あります)、ヨコ列(9列あります)、太線で囲まれた3x3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つあります)のどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。(答え4面) パズル制作/ニコリ

囲碁 中級編

囲碁 出題 九段 石榑郁郎 黒先 7分で初、二段以上 (ヒント) 一手目の好手で二眼を作ります。 [Diagram of a Go board with stones placed] (解答は4面にあります)

将棋 中級編

将棋 出題 九段 西村一義 持駒 角 金 桂 銀 王 馬 歩 兵 卒 歩 一 二 三 四 五 六 (Hint) 打った角をまた捨てる。10分で初段 (解答は4面にあります)